

ずっと自分の目で見る ために今できること —緑内障と白内障—

柏しこだ眼科 山本和弘

はじめに

- ①失明とは
- ②成人中途失明の原因
- ③緑内障とは
- ④白内障とは
- ⑤まとめ

①失明とは

視力障害のうち、もっとも重度の状態（視力の喪失＝明暗の弁別も出来ない状態、あるいはようやく明暗を区別できる程度の状態）を指す。

全く明暗を区別できない状態（全盲）

明暗のみを区別できる状態（光覚弁）

眼前の手の動きのみを認識できる状態（手動弁）

がこの失明に含まれる。

（厚生労働省「眼の障害に関する障害等級認定基準」による）

②成人中途失明の原因

日本

全世界

緑内障

約22%

白内障

約42%

糖尿病網膜症

約17%

緑内障

約11%

加齢黄斑変性

約10%

加齢黄斑変性

約9%

網膜色素変性症

約10%

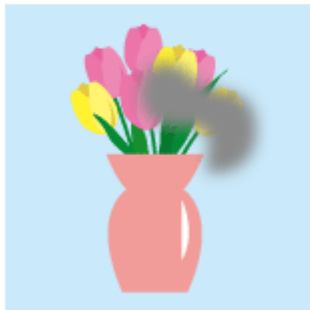
糖尿病網膜症

約5%

③緑内障とは

- 目と脳をつなぐ神経（視神経）の病気
- **見える範囲（視野）が少しずつ狭くなる**
- 初期は自覚症状がほとんどなし
- 健診で見つかることが多い

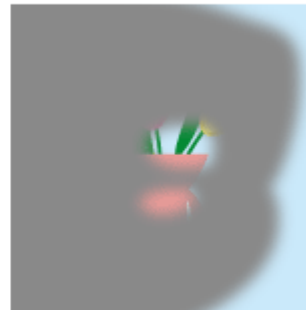
■ 見え方の変化（右眼のみを示す）



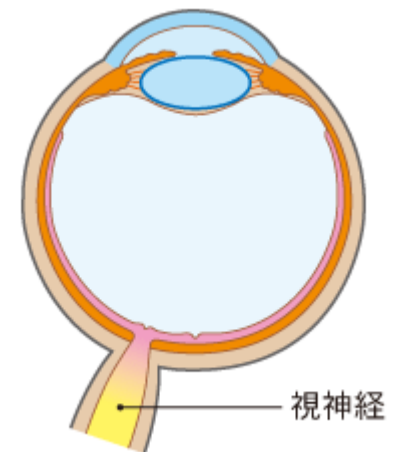
初期



中期

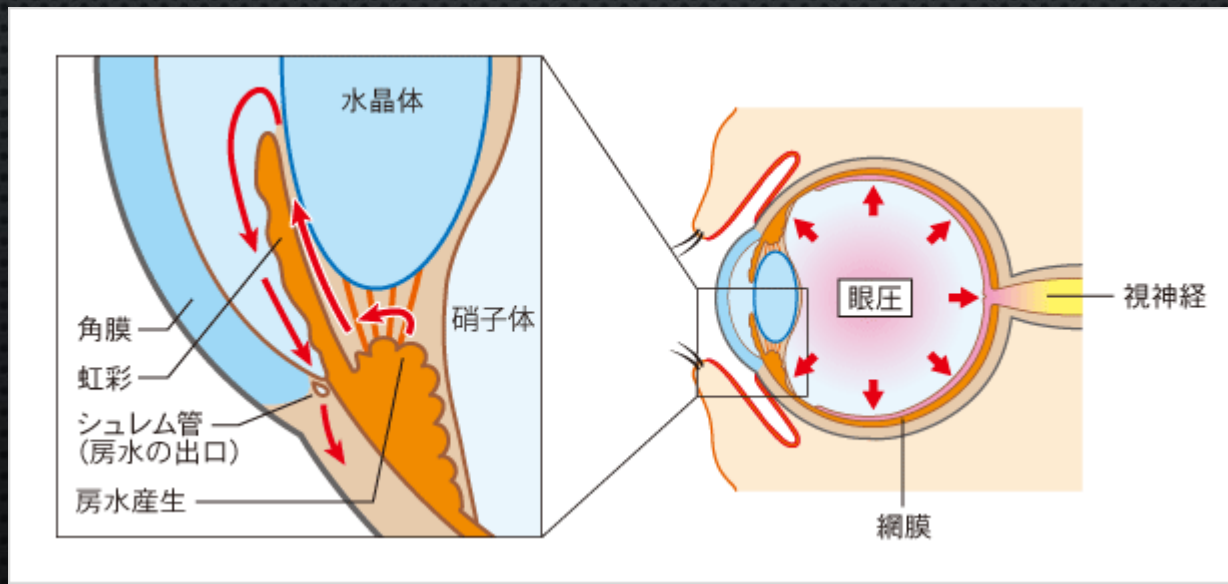


末期



なぜ緑内障がおこるのか

- ・ 目の中の水（房水）の流れが悪くなる
- ・ その結果、目の硬さ(眼圧)が上がり、視神経が傷む
- ・ 眼圧が高くなくても起こる緑内障もある(正常緑内障)



緑内障の治療の考え方

- ・ 一度傷んだ視神経は元には戻りません

- ・ 治療の目的は
これ以上悪くならないようにすること
- ・ そのために
目の硬さ(眼圧)を下げる治療を行います

緑内障の治療(点眼が基本)

- ・ 多くの緑内障は点眼治療から始めます

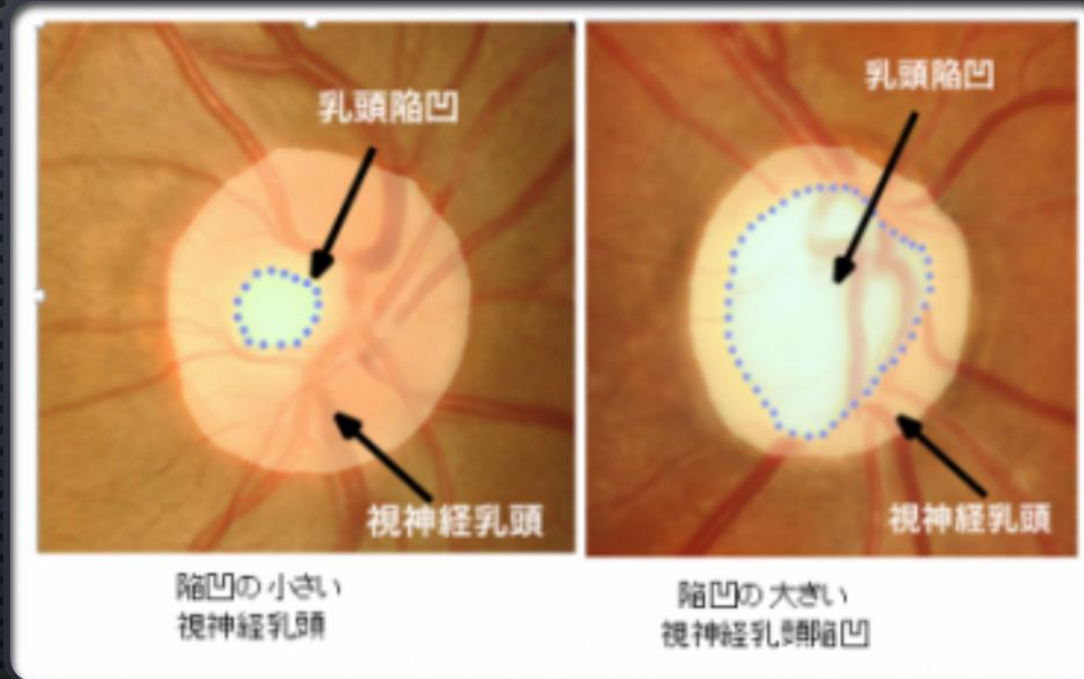
- ・ 点眼により眼圧を下げ、病気の進行を抑えます

- ・ 毎日続けることが最も大切な治療です



健康診断で

「視神経乳頭陥凹拡大」
と書かれていたら〈一度は眼科へ〉



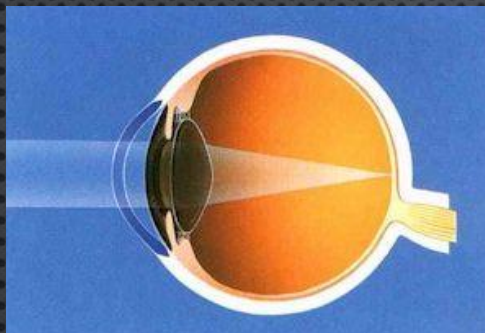
- ・ 視神経が少しずつ痩せてきているサイン
- ・ この段階では見え方の自覚症状はほとんどありません
- ・ 緑内障の可能性があります

緑内障

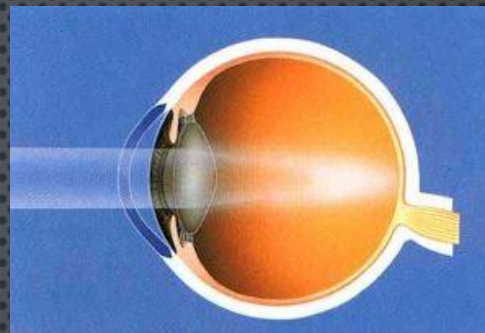
今日いちばん大切なこと

- ・ 緑内障は自覚症状がほとんどありません
- ・ 早期発見・早期治療が何より大切です
- ・ 健診で『視神経乳頭陥凹拡大』
→一度は眼科を受診しましょう

④白内障とは



通常の目に入る光



白内障に妨害された光



くっきりみえる状態



かすんで・まぶしく感じる状態

手術を考える目安(当院の考え方)

▶手術を検討する目安

- ・見えづらさ・まぶしさがつらい
- ・眼鏡をかけても0.7未満

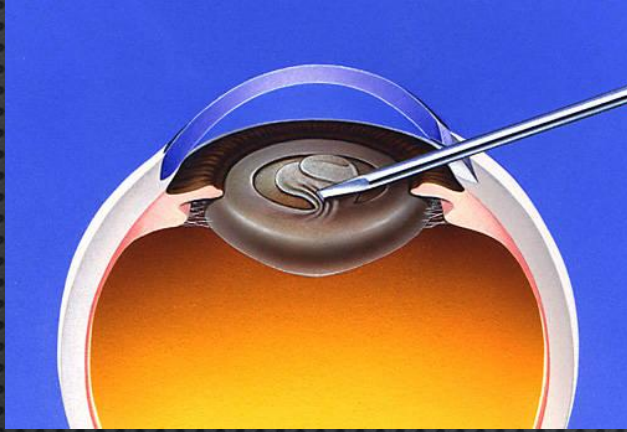
▶白内障について

- ・加齢による自然な変化
- ・生活に支障がなければ、急ぎません

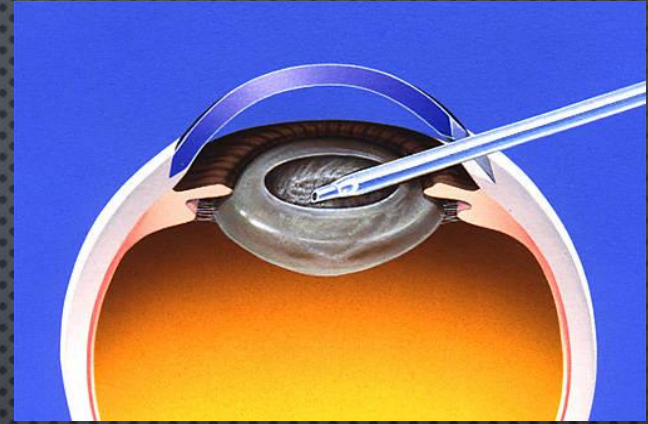
▶当院の方針

- ・こちらから手術を勧めることはありません
- ・ご本人の希望を大切にします

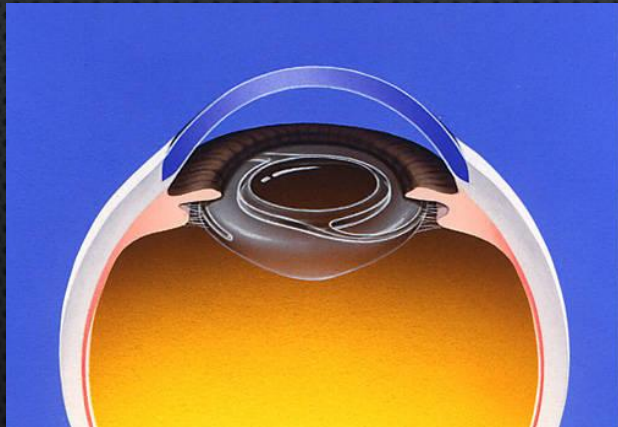
手術の方法



小さな傷から
手術を行います



濁った部分を
細かくして
取り除きます



透明な眼内レンズを入れて
固定します

手術について大切なこと

白内障手術は、現在とても安全性の高い手術です

ただし、どんな手術にも一定のリスクはあります

手術中に起こりうること (いずれもまれです)

- ・ 出血が多くなること
- ・ 水晶体を支える膜のトラブル
- ・ 目の奥の組織が前に出てくること など

手術後に起こりうること (多くは軽度)

- ・ 一時的な眼圧上昇・痛み
- ・ 見え方の違和感（慣れによるもの）
- ・ まれに感染症

白内障

今日いちばん大切なこと

- ・ 白内障は加齢によって誰にでも起こりうる変化です
- ・ 見えづらさ・まぶしさが出てきたら治療を考えます
- ・ 生活に支障がなければ、急ぐ必要はありません
- ・ 見えづらくなった時には
→ 白内障手術で改善が期待できます

⑤まとめ

今回の講演会で お伝えしたかったこと

- ・ 目の病気は、初期には自覚症状が少ないものが多い
- ・ 健診は、早期発見のいちばんのチャンス
- ・ 緑内障は、早期発見・継続治療が何より大切
- ・ 白内障は、困ったときに治療を選べる変化
- ・ 気になる健診結果が出たときは、迷わず眼科へ

